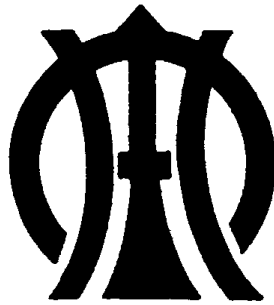


平成30年版

消防年報



栄町民憲章



水と緑にめぐまれた栄町は、先人たちの残した歴史にかこまれている私たちのふるさとです。

私たちは、このすばらしい自然と伝統を守りながら、豊かで明るい田園観光都市をつくりあげるため、この憲章を定めます。

1. 歴史と自然を守り
美しいまちをつくりましょう。
1. 他人をおもいやり
住みよいまちをつくりましょう。
1. 若い力をそだて明るい
未来のまちをつくりましょう。
1. 働くことによるこびを感じ
豊かなまちをつくりましょう。
1. スポーツに親しみ健康で
すこやかなまちをつくりましょう。

昭和61年10月1日制定

は し が き

この年報は平成３０年４月１日現在、栄町における消防現況及び平成２９年度中の消防業務に関する事項について収録し、今後の行政における合理的運営と消防力の充実育成に資するために編集したものです。

なお、統計年については、平成３０年４月１日の数値を記載し火災及び救急は暦年としました。

平成３０年６月

栄町消防本部

目 次

総務編

栄町の位置・地勢	1
栄町消防の歩み	2～5
消防組織図	6
消防財政	7
事務分掌	8～9
消防職員配置状況	10

予防編

火災発生状況の推移	11
防火対象物の現況及び査察状況	12
危険物施設数量別設置状況	13

警防編

救急活動状況の推移	14
月別出場件数及び搬送人員	15
月別救急支援出動及びドクターヘリ要請件数	16
救助出場状況	17
救助資機材保有状況	18
消防本部（署）車両配置状況・消防無線施設	19
消防水利状況	20
応援協定等の状況	21～22

防災編

栄町防災行政無線通信施設状況	23
自主防災組織防災備品状況（町整備）・自主防災組織防災備品状況（各自主防災組織整備）	24
町防災備品状況	25～26
広域避難場所図・避難場所一覧表	27

消防団編

消防団員報酬（年額）・消防団員各種手当・消防団出場状況	28
階級別定員数及び実員数・分団別人員配置状況	29
消防団車両保有状況	30
消防団施設概要	31

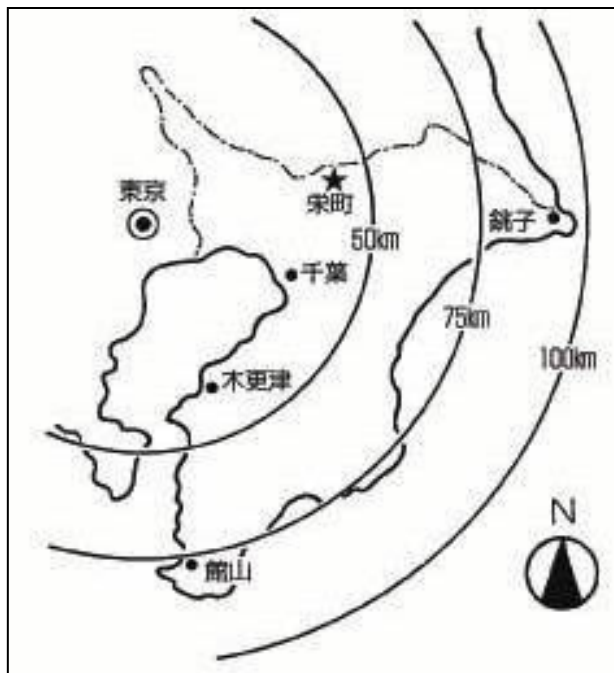
総務編



《2018 さかえリバーサイドマラソン》

栄町の位置・地勢

千葉県北部、利根川流域に位置し、東は成田市、南は印旛沼、西は印西市、北は利根川をはさんで茨城県に接し、東京都心より45キロメートル圏に入り、千葉市からは35キロメートルの距離で、成田国際空港へは10キロメートルのところに位置しています。総面積は、32.51平方キロメートルで東西に約12キロメートル、南北に約5キロメートルの東西に細長く、東部は一帯に高台で、山林や畑が多く南部及び西北部は平坦で豊かな水田地帯が広がっています。近年、安食駅を中心とした一部周辺区域は、首都圏近郊の住宅地として社会経済環境は大きく変わりつつあります。



面積：32.51 km²

位置：東経 140° 14' 50"
北緯 35° 50' 15"

(平成30年4月1日現在)

年別 区分		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
世帯数		8,710	8,779	8,816	8,933	8,951
人口	男性	10,682	10,568	10,411	10,396	10,251
	女性	11,217	11,088	10,871	10,805	10,657
	合計	21,899	21,656	21,282	21,201	20,908
人口密度(人/km ²)		673.6	666.1	654.6	652.1	643.1

年	月	概	要
昭和30	12	安食町と布鎌村の合併に伴い消防団も同時に合併する 初代消防団長に麻生新平氏就任 消防団員条例定員数740名とする	
昭和35	4	第2代消防団長に高橋竹重氏就任	
昭和38	2	第3代消防団長に大木勝三氏就任	
昭和39	3	第4代消防団長に大野勘助氏就任	
昭和40	7	千葉県広域消防応援協定を締結する	
昭和42	4	第5代消防団長に河内稲吉氏就任 消防団員条例定員数688名とする	
昭和44	4	成田市と救急業務応援協定を締結する 消防団員条例定員数587名とする	
昭和45	6	第6代消防団長に野平幸男氏就任	
	12	役場分団を結成する	
昭和48	12	印西地区消防組合と救急業務応援協定を締結する	
	4	消防団員条例定員数444名とする	
	7	利根川水系連合(1都6県)水防演習を布太地先で挙げる	
昭和50	4	第7代消防団長に杉田甚衛氏就任	
昭和53	3	新東京国際空港消防相互応援協定を締結する	
昭和54	4	第8代消防団長に近藤博氏就任	
昭和59	4	消防団員条例定員数400名とする 組織改革により分団制から部制を導入(6分団24部) 救急隊発足の為、職員の研修を開始する	
昭和60	4	役場総務課に救急準備室発足	
	8	日本船舶振興会より救急車(2B型)1台寄贈される	
昭和61	4	救急隊発足に伴い職員1名採用	
	5	消防救急指令装置を設置する	
		無線電話装置(基地局[消防さかえ]・移動局[救急さかえ1])を設置	
	6	役場新庁舎完成	
		成田市・印西地区消防組合と消防業務応援協定を締結する	
	7	役場総務課に救急業務係を設置 救急業務を13名で開始する。救急車1台及び指揮車1台を配置	
	12	携帯無線機(さかえ101・102)を購入 救急自動車(2B型)1台を増車し配置する 無線電話装置移動局(救急さかえ2・さかえ指揮1)を設置	
昭和62	4	消防防災課発足 職員18名となる	
	11	無線電話装置移動局(さかえ1)を設置(役場分団可搬式ポンプ積載車に設置)	
昭和63	4	職員21名となる 消火活動を開始する(救急業務兼務)	
	5	利根川水系連合(1都6県)水防演習を出津地先で挙げる	
	8	消防団各消防車両に受令機を設置	

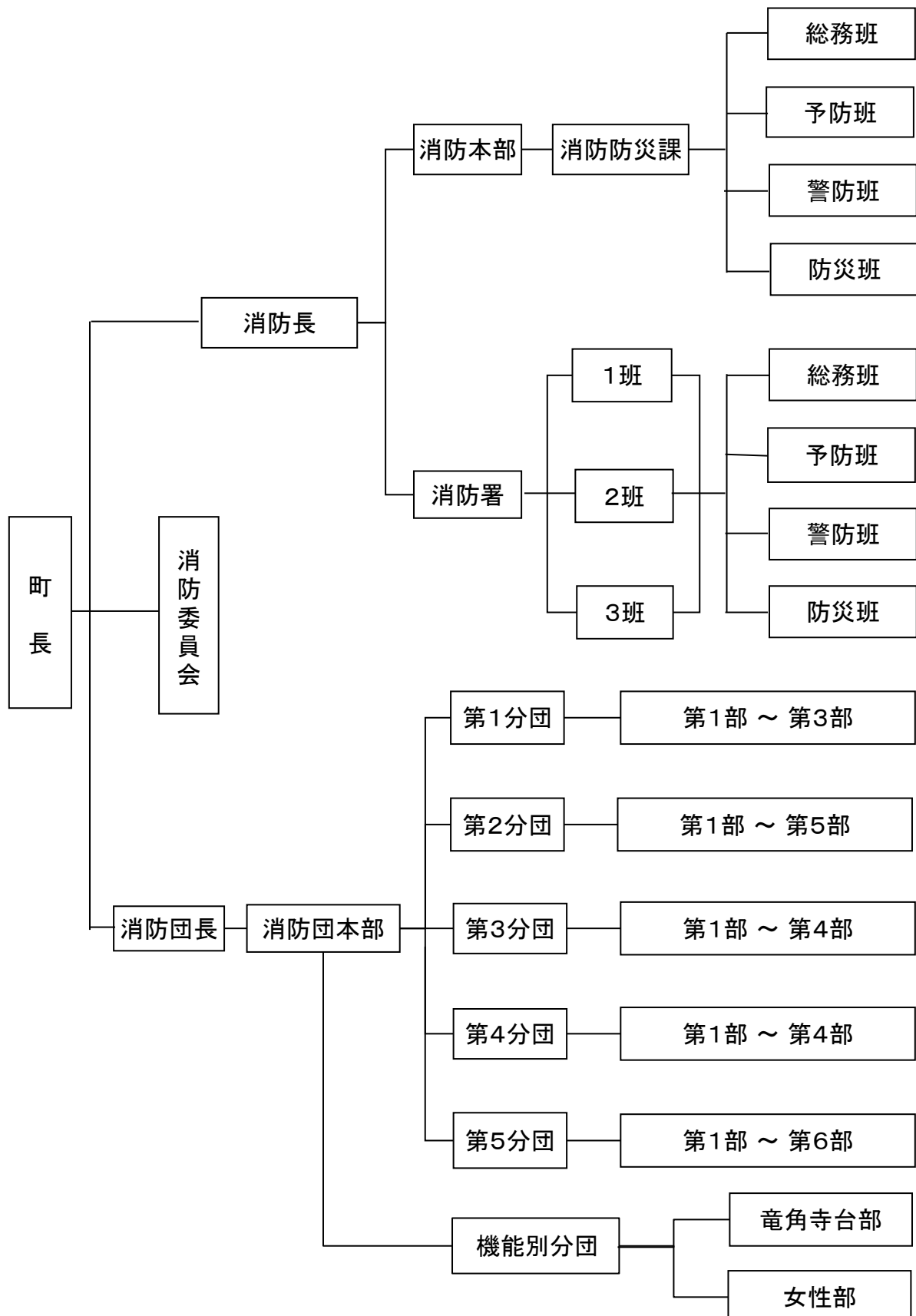
年	月	概	要
昭和63	12	無線電話装置移動局(さかえ2)を設置 (役場分団タンク車に設置)	
平成元	4	職員23名となる	
	10	栄町防災行政無線 平成元年度分(固定系)施設整備工事に着手(親局1局、屋外拡声子局14局、戸別受信機35台)	
平成2	4	職員25名となる	
	8	栄町防災行政無線 平成2年度分(固定系)施設整備工事に着手(屋外拡声子局25局、戸別受信機35台)	
平成3	4	職員28名となる	
	8	栄町防災行政無線 平成3年度分(固定系)施設整備工事に着手(屋外拡声子局15局、戸別受信機35台)	
	12	栄町防災行政無線局 全局運用開始(屋外拡声子局54局、戸別受信機105台) 消防ポンプ自動車CD-1型を購入(さかえ1)	
平成4	4	職員31名となる	
	5	指揮車更新(さかえ指揮1) 栄町防災行政無線 平成4年度分(固定系)施設整備工事に着手(戸別受信機50台)	
平成5	1	職員33名となる	
	4	職員38名となる	
	11	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型購入 無線電話装置移動局(さかえ3)を水槽付消防ポンプ自動車に設置 携帯無線機(さかえ106)を購入	
平成6	4	自治大臣より消防本部及び消防署を置かなければならない町村として指定を受ける 町独自水出し操法を開始	
	10	栄町消防本部・栄町消防署を安食台1丁目2番に設ける 初代消防長に白石明氏(消防署長事務取扱)就任 職員41名となる	
	12	千葉県消防設備保守協会より広報車(カローラバン)1台寄贈される	
平成7	2	消防庁舎用地取得	
	4	職員42名となる	
	5	栄町危険物安全協会設立	
平成8	2	救急車2B型を準高規格に更新(救急さかえ1)	
	4	職員43名となる 第9代消防団長に石井清輝氏就任	
	6	第21回消防救助技術千葉県大会に初出場	
平成9	2	第38回千葉県消防職員意見発表会に初出場	
	4	職員45名となる	
平成10	4	職員47名となる	
	10	消防庁舎起工式	
平成11	4	職員49名となる	
	11	消防庁舎建築及び設備工事完了	
	12	消防庁舎にて業務開始	

年	月	概	要
平成11	12	資機材搬送車を配置する(さかえ5)	
平成12	1	救急車(2B)を高規格救急車に更新配備(救急さかえ2)	
		医療法人社団育成會 北総栄病院に心電図受信装置設置	
		救急救命士による救急活動を開始する	
	2	栄町消防庁舎・出津高規格堤防竣工式	
		消防団員条例定数352名とする	
	3	成田市消防本部が成田赤十字病院に設置した心電図受信装置の使用について協定を締結	
		佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部が日本医科大学附属千葉北総病院に設置した	
		心電図受信装置の使用について協定を締結	
		役場分団を解散する	
	4	PA連携活動を開始	
	7	第2代消防長に鈴木薫氏就任	
平成13	2	小型動力ポンプ付水槽車を購入(さかえ6)	
平成14	2	救助工作車Ⅱ型(さかえ7)及び救助用ボートを購入	
	4	職員47名となる	
	7	第3代消防長に鈴木萬滋氏就任	
平成15	3	消防ポンプ自動車を更新配備(さかえ1)	
平成16	2	救急車(2B)を高規格救急車に更新配備(救急さかえ1)	
	4	三部制を施行する	
		職員47名となる	
	7	第4代消防長に白石明氏就任	
平成17	4	緊急消防援助隊に登録	
		職員47名となる	
平成18	4	第10代消防団長に大久保靖夫氏就任	
		職員49名となる	
平成20	4	第11代消防団長に小川義人氏就任	
		職員48名となる	
	5	利根川水系連合(1都6県)水防演習を出津地先で挙げる	
	7	第5代消防長に鳥羽功雄氏就任	
		職員46名となる	
平成21	4	第6代消防長に大澤幸男氏就任	
平成22	4	職員45名となる	
		機能別分団竜角寺台部発足	
平成23	4	第7代消防長に浅野正治氏就任	
		職員47名となる	
平成24	4	第8代消防長に鈴木薫氏就任	
		職員46名となる	
	11	第12代消防団長に芝野照敏氏就任	
平成25	4	第9代消防長に奥野三男氏就任	
		職員46名となる	
平成26	2	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型更新(栄水槽1)	
	4	職員47名となる	
平成27	3	高規格救急自動車を更新(栄救急2)	

年	月	概	要
平成27	4	職員45名となる	
平成28	4	第10代消防長に杉田昭一氏就任	
		職員47名となる	
		第13代消防団長に大野徹夫氏就任	
平成28	12	公益財団法人日本消防協会より防災活動車(ワンボックス型)1台寄贈される	
平成29	1	少年消防団発足	
平成29	4	職員48名となる	
平成30	4	機能別分団女性部発足	

消防組織図

(平成30年4月1日現在)



消防財政

〈過去3年間の状況〉

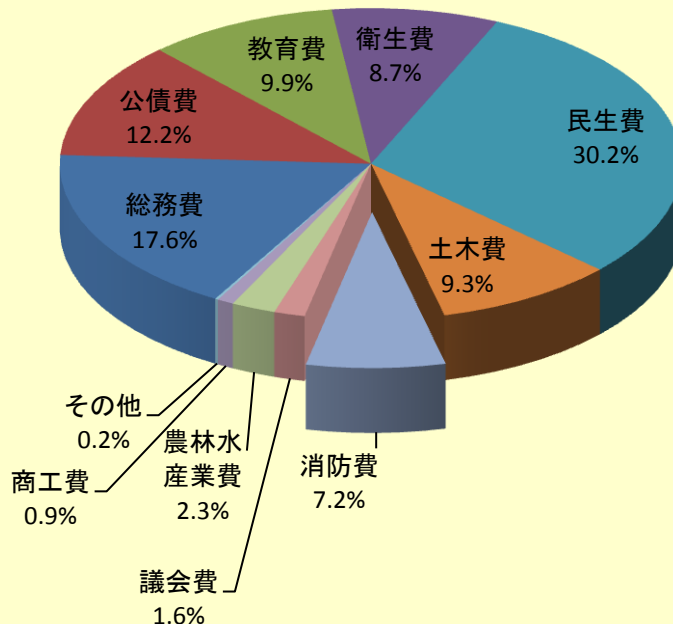
(単位:千円)

年度 \ 区分	常 備	非常備	施 設	水 防	防災対策費	計
平成28年	373,960	28,623	0	2,645	240,201	645,429
平成29年	393,793	35,982	0	2,660	21,508	453,943
平成30年	396,508	48,783	0	6,660	33,932	485,883

〈平成30年度一般会計〉

(単位:千円)

区分	予算額
総務費	1,184,817
公債費	819,744
教育費	668,605
衛生費	584,491
民生費	2,037,430
土木費	629,872
消防費	485,883
議会費	108,385
農林水産業費	154,320
商工費	58,635
その他	10,218
合 計	6,742,400



班 名	分掌事務
総務班	消防本部・署の人事に関すること。
	消防本部・署内の行政評価の管理に関すること。
	予算、決算及び会計経理に関すること。
	消防財産の維持管理に関すること。
	公印の管守に関すること。
	行政文書の收受、発送及び整理保存に関すること。
	消防委員会に関すること。
	消防広報に関すること。
	消防職員に対する被服等の貸与に関すること。
	消防職員の福利厚生に関すること。
	消防職員の労働安全管理及び公務災害補償に関すること。
	消防団の指導育成に関すること。
	消防職員委員会に関すること。
予防班	水火災の予防に関すること。
	防火思想の普及啓蒙に関すること。
	予防査察に関すること。
	防火管理及び消防計画に関すること。
	消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
	建築物の建築の同意に関すること。
	火災の原因及び火災による損害の調査に関すること。
	栄町火災予防条例に基づく届出の受理に関すること。
	液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく意見書の提出に関すること。
	危険物安全協会の指導育成に関すること。
	講習会及び試験等に関すること。
	危険物の製造所、貯蔵所及び取扱所に係る許認可、届出の受理及び指導に関すること。
警防班	火災の防御計画に関すること。
	水火災等の災害に関すること。
	消防水利に関すること。
	消防施設の整備に関すること。
	救急救助に関すること。
	警防計画に関すること。
	消防機器の管理に関すること。
	消防に係る統計に関すること。
	各種証明に関すること。
	消防通信の管理運用に関すること。
	消防訓練等に関すること。
防災班	防災会議に関すること。
	防災行政無線に関すること。
	災害対策本部に関すること。
	地域防災計画の策定に関すること。
	防災備品の維持及び管理に関すること。
	防災訓練に関すること。
	国民保護法制に関すること。

班 名	分掌事務
総務班	消防車両等消防施設の維持管理に関すること。
	消防職員の研修計画に関すること。
	消防職員の健康管理に関すること。
	消防団の訓練指導に関すること。
予防班	防災対象物の予防査察に関すること。
	火災の原因及び火災による損害の調査に関すること。
	火災予防に関すること。
	庶務に関すること。
警防班	水火災の警戒及び防御に関すること。
	救急業務に関すること。
	救助業務に関すること。
	通信業務に関すること。
	地水利調査に関すること。
	消防用資機材の運用及び管理に関すること。
	各種消防訓練に関すること。
防災班	防災備品の維持及び管理に関すること。
	各種団体の防災訓練に関すること。
	自主防災の運営に関すること。
	防災備品の維持及び管理に関すること。
	庶務に関すること。

消防職員配置状況

(平成30年4月1日現在)

階級 所属		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	計
消防本部	消防長	1								1
	消防防災課長								1	1
	総務班				2			5	1	8
	予防班			1						1
	警防班			1						1
	防災班								2	2
	小計	1		2	2			5	4	14
消防署	消防署長		1							1
	消防副署長			3						3
	総務班			1	3		3	2		9
	予防班			1	6		2			9
	警防班			1	5	1	1	1		9
	防災班			1	2					3
	小計		1	7	16	1	6	3		34
合計		1	1	9	18	1	6	8	4	48

予 防 編

《少年消防団による火災予防啓発》



平成29年中、当町における出火件数は9件、その内訳は建物火災が2件・林野火災が2件・その他火災が5件となっています。

全国的な火災実態の傾向では放火やたばこによるものが多く、町民にそれらに対する一層の防止策や進展する高齢化社会に伴う火災予防対策として、住宅用火災警報器の設置を積極的に指導し、出火防止を図っていく必要があります。

火災発生状況の推移

(過去10年間)

区分		年別	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年
火災種別 (件数)	建物		3	3	9	1	2	1	4	2	4	2
	林野		1						1		1	2
	車両					1	1	1	1		1	0
	その他		3	1	4	7	2	6	5	1	1	5
	合計		7	4	13	9	5	8	11	3	7	9
焼損棟数 (棟)	全焼		2	3	9	1	4		1	1	3	3
	半焼			1							1	1
	部分焼		3	1	2	1	1		3	1	1	
	ぼや				1		1	1			1	2
	合計		5	5	12	2	6	1	4	2	6	6
り災世帯 (世帯数)			5	4	10	1	5		3	1	2	5
り災人員 (人数)			13	14	23	3	11		5	2	2	13
死傷者等	死者 (人)		1				1				1	1
	負傷者 (人)			1	1	1						1
焼損面積	建物 (㎡)		331	627	953	294	190	2	48	120	390	428
	車両 (台)			1		1	1	1	1		1	2
	その他 (a)		3		8	5	17	13	126		10	6
損害額 (千円)	建物		25,400	19,401	67,555	8,085	36,686		2,954	11,748	47,084	24,575
	林野											
	車両			3,500		320	59	700			300	170
	その他											1,071
	合計		25,400	22,901	67,555	8,405	36,745	700	2,954	11,748	47,384	25,816

防火対象物の現況及び査察状況

(平成30年4月1日現在)

項別	区分	防火対象物の用途	防火対象物数	査察状況
1	イ	劇場・観覧場		
	ロ	公会堂・集会場	12	
2	イ	キャバレー・カフェ等		
	ロ	遊技場・ダンスホール		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等		
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用させる役務を提供する店舗		
3	イ	待合・料理店	1	
	ロ	飲食店	2	
4		百貨店又はマーケット	22	8
5	イ	旅館・ホテル		
	ロ	寄宿舍・共同住宅	103	
6	イ	病院・診療所	5	
	ロ	各種福祉施設	7	2
	ハ	老人デイサービスセンター・老人福祉センター・老人介護支援センター・保育所等	5	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校	4	
7		小・中・高・大学・各種学校	12	
8		図書館・博物館	5	
9	イ	熱気浴場・蒸気浴場		
	ロ	公衆浴場		
10		車両の停車場・船舶若しくは航空機の発着場		
11		神社・寺院・教会	3	
12	イ	工場・作業場	33	2
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫・駐車場	5	
	ロ	飛行機等の格納庫		
14		倉庫	24	
15		全各項に該当しない事業所	44	2
16	イ	複合用途防火対象物のうちその一部が1項～4項まで、5項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象の用途に供されているもの	16	2
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	6	
17		重要文化財		
18		延長50m以上のアーケード		
19		市町村の指定する山林		
20		自治省で定める舟車		
合 計			309	17

危険物施設数量別設置状況

(平成30年4月1日現在)

区 分		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所						合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク貯蔵所	屋 内 タンク貯蔵所	地 下 タンク貯蔵所	簡 易 タンク貯蔵所	移 動 タンク貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 類 販 売 取 扱 所	第 二 類 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計
計			2	2		10		29		43	5				6	11	54
指 定 数 量 別	5倍以下		1	2		3		29		35					1	1	36
	5倍を超え 10倍以下		1							1					1	1	2
	10倍を超え 50倍以下					4				4					4	4	6
	50倍を超え 100倍以下					1				1	1					1	2
	100倍を超え 150倍以下																1
	150倍を超え 200倍以下					1				1							1
	200倍を超え 1000倍以下					1				1	4					4	5
	1000倍を超 えるもの																
類 別	第1類																
	第2類																
	第3類																
	第4類		2	2		10		29		43	5				6	11	54
	第5類																
	第6類																

警 防 編



《水難救助ボート》

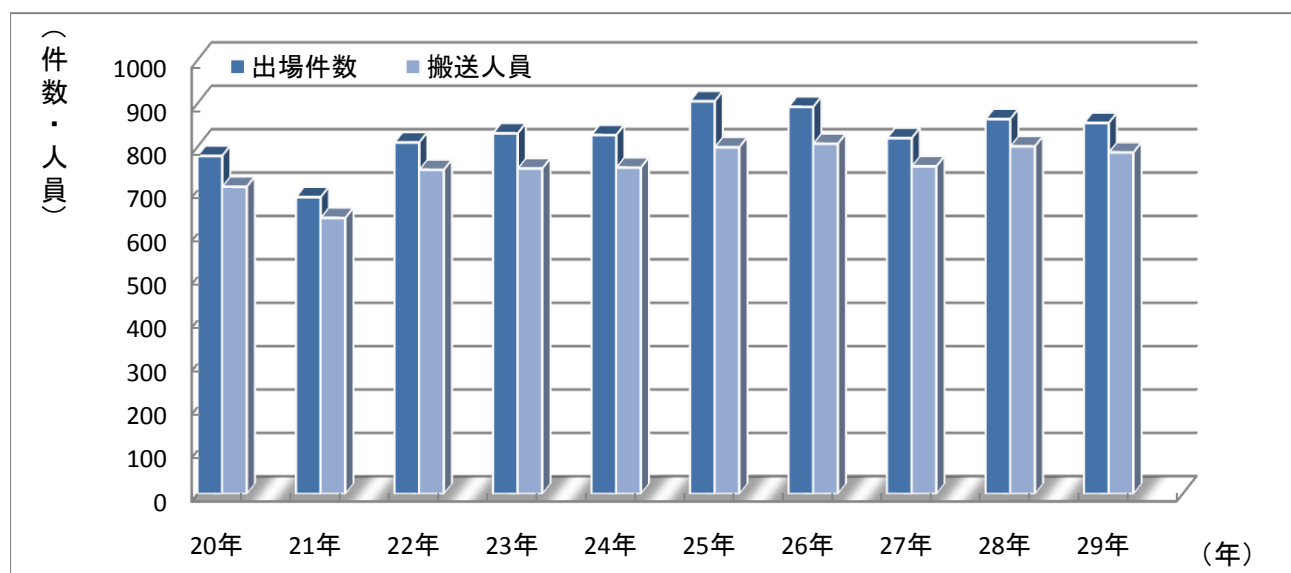
平成30年度、水難救助ボートを新規購入しました。

災害に備え、月に1回は操船技術の維持・向上を目的に流水下での操船訓練及び点検等を実施し出動態勢を整えています。

救急活動状況の推移

(過去10年間)

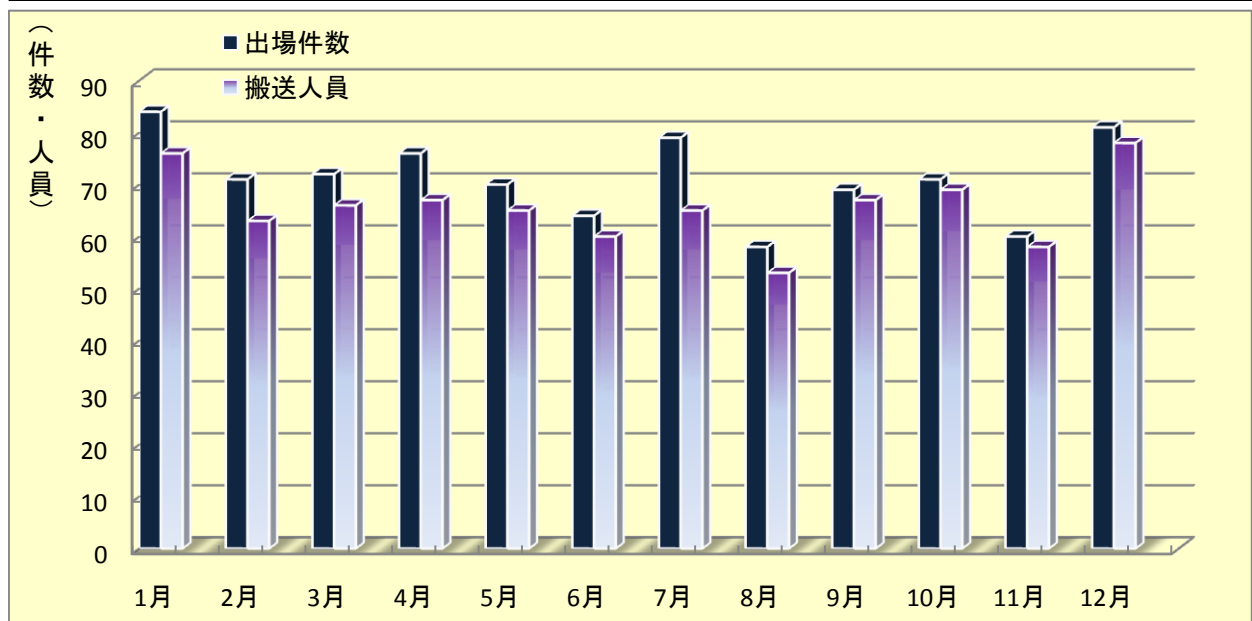
区 分		救 急 事 故 種 別												合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転 院 搬 送	そ の 他	
平成 20年	出場件数	4		5	111	7	4	90	5	9	486	55	3	779
	搬送人員			1	115	7	4	81	1	4	439	56		708
平成 21年	出場件数	4		2	65	4	3	94	4	12	451	43	2	684
	搬送人員				75	4	3	89	4	9	406	43	3	636
平成 22年	出場件数	6		2	74	2	2	106	3	12	569	34		810
	搬送人員	1			77	2	2	103	2	7	520	33		747
平成 23年	出場件数	2		2	51	6	2	116	2	14	595	41		831
	搬送人員	1		1	44	6	2	104	1	10	544	37		750
平成 24年	出場件数	2		3	64	6	2	119	3	12	575	41		827
	搬送人員				61	6	2	112	2	3	525	41		752
平成 25年	出場件数	14		4	76	10	6	116	4	13	617	42	3	905
	搬送人員				72	10	4	95	4	9	562	43		799
平成 26年	出場件数	15		4	72	5	5	113	6	19	602	50	1	892
	搬送人員				81	5	5	109	6	11	540	50		807
平成 27年	出場件数	4		4	71	6	3	125	2	10	554	39	2	820
	搬送人員	1		2	69	6	3	116	2	4	513	39		755
平成 28年	出場件数	11		1	56	8	4	104	8	12	618	40	2	864
	搬送人員	2		2	59	7	4	99	8	8	572	40		801
平成 29年	出場件数	12		2	65	4	2	118	4	6	599	42	1	855
	搬送人員				66	4	2	115	3	4	551	42		787



月別出場件数及び搬送人員

(平成29年1月1日～12月31日)

区 分		救 急 事 故 種 別											合 計	
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転 院 搬 送		そ の 他
1月	出場件数				6			11		1	62	4		84
	搬送人員				5			9			58	4		76
2月	出場件数	2			5		1	7			52	4		71
	搬送人員				4		1	6			48	4		63
3月	出場件数				7			10	1		50	4		72
	搬送人員				6			10	1		45	4		66
4月	出場件数	3			2	1		9			56	4	1	76
	搬送人員				2	1		10			50	4		67
5月	出場件数	1			6	1		9		1	48	4		70
	搬送人員				6	1		9		1	44	4		65
6月	出場件数				6	1	1	14	2		37	3		64
	搬送人員				5	1	1	13	1		36	3		60
7月	出場件数	1		1	4			12		1	53	7		79
	搬送人員				3			12		1	42	7		65
8月	出場件数	2			7	1		9			36	3		58
	搬送人員				7	1		9			33	3		53
9月	出場件数				6			8		2	51	2		69
	搬送人員				6			8		2	49	2		67
10月	出場件数				4			12	1		50	4		71
	搬送人員				6			12	1		46	4		69
11月	出場件数			1	5			10			43	1		60
	搬送人員				5			10			42	1		58
12月	出場件数	3			7			7		1	61	2		81
	搬送人員				11			7			58	2		78
合 計	出場件数	12		2	65	4	2	118	4	6	599	42	1	855
	搬送人員				66	4	2	115	3	4	551	42		787



月別救急支援出動及びドクターヘリ要請件数

(平成29年1月1日～12月31日)

区 分		救 急 事 故 種 別												合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転 院 搬 送	そ の 他	
1月	支援出動				1						10	1		12
	Drヘリ要請				1									1
2月	支援出動				3						12			15
	Drヘリ要請										1			1
3月	支援出動				1			2			5	1	1	10
	Drヘリ要請							2			1			3
4月	支援出動				2						3			5
	Drヘリ要請													
5月	支援出動				2						8			10
	Drヘリ要請										1			1
6月	支援出動				3			1	1		1			6
	Drヘリ要請													
7月	支援出動				1						3			4
	Drヘリ要請													
8月	支援出動				3						4			7
	Drヘリ要請													
9月	支援出動				3			2			1			6
	Drヘリ要請							1						1
10月	支援出動				1			1	1		9			12
	Drヘリ要請													
11月	支援出動				1						4			5
	Drヘリ要請													
12月	支援出動				4			4		1	13			22
	Drヘリ要請							1						1
合計	支援出動				26			14		1	76			114
	Drヘリ要請				1			4			3			8

救助出場状況

(過去5年間)

区 分		事 故 種 別									
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
平成25年	出場件数		2	5		1				3	11
	活動件数		2	4		1				1	8
平成26年	出場件数		7	3						7	17
	活動件数		6	2						1	9
平成27年	出場件数		5	4						6	15
	活動件数		2	2						3	7
平成28年	出場件数		4	1						4	9
	活動件数		3	1						2	6
平成29年	出場件数		9	2						6	17
	活動件数		5	0						3	8

救助資機材保有状況

平成29年4月1日現在

品 名	数 量	品 名	数 量
一般救助用器具		測定用器具	
かぎ付きはしご	2	可燃性ガス測定器	2
二連はしご	1	有毒ガス測定器	1
三連はしご	4	放射線測定器	1
金属製折りたたみはしご	1	隊員保護用器具	
空気式救助マット	1	化学防護服	2
救命索発射銃	1	防塵メガネ	9
サバイバースリング・救助用縛帯	5	防毒マスク	5
平担架	2	耐電手袋	9
バスケット担架	1	耐電帽・耐電衣	4
重量物排除用器具		耐電ズボン	2
油圧ジャッキ	2	耐電長靴	2
大型油圧スプレッダー	2	呼吸保護用器具	
可搬式ウインチ	6	空気呼吸器	23
マット式空気ジャッキ	2	要救助者用マスク	2
マンホール救助器具	1	酸素呼吸器	2
切断用器具		簡易呼吸器	2
大型油圧切断機	2	送排風機	1
油圧切断機	1	水難救助用器具	
エンジンカッター	2	救助用ボート	1
ガス溶断器	1	船外機	2
チェーンソー	2	救命胴衣	11
鉄線カッター	3	救命浮環	2
エアソー	2	浮標	1
空気切断機	1	その他の救助用器具	
電動レシプロソー	1	小型赤外線(熱画像)カメラ	1
電動式油圧コンビツール	1	携帯無線機	8
破壊用器具		携帯警報器	5
万能斧	7	携帯拡声器	8
ハンマー	3	車両移動器具	2
掛矢	3	緩降機	1
削岩機	1	応急処置セット	1
ハンマドリル	1	ハイブリッド車対応絶縁工具	1
携帯用コンクリート破壊器具	1		

消防本部(署)車両配備状況

(平成30年4月1日現在)

区分 車両 名称	車 種	メーカー	購入年月日	級別	ポンプ・主要装置			経過 年数	配置 場所
					製作所	形 式	水 槽		
栄ポンプ1	消防ポンプ車 (CD-I 型)	日野	平成15年 3月	A-2	モリタ	ME-5	300L	14	消防署
栄水槽1	水槽付 消防ポンプ車(II 型)	日野	平成26年 3月	A-2	モリタ	MZI	2,000L	3	消防署
栄資材1	資機材搬送車	三菱	平成12年12月	—	—	—	—	17	消防本部
栄給水1	小型動力ポンプ付 水槽車(I 型)	日野	平成13年 1月	B-2	GM市原	GM2H2	5,000L	16	消防署
栄救助1	救助工作車(II 型)	日野	平成14年 2月	—	モリタ	—	—	15	消防署
栄本部指揮1	指揮車	三菱	平成28年 12月	—	—	DBA- CV5W LTSHZ	—	2	消防本部
栄救急1	救急車	トヨタ	平成16年 2月	高規格	トヨタ クラフト	—	—	13	消防署
栄救急2	救急車	日産	平成27年 3月	高規格	オーテック ジャパン	—	—	2	消防署

消防無線施設

(平成30年4月1日現在)

		名 称	設置場所	型 式	出 力
陸上移動局	固定型	栄本部501	消防本部	CM-2010DF	5W
	可搬型	栄本部指揮1	指揮車	CM-2010SM	5W
	車載型	栄救急1	救 急 車	CM-2010D	5W
		栄救急2	救 急 車	CM-2010D	5W
		栄ポンプ1	消 防 車	CM-2010D	5W
		栄水槽1	消 防 車	CM-2010D	5W
		栄救助1	救助工作車	CM-2010D	5W
		栄資材1	資機材搬送車	CM-2010D	5W
		栄給水1	消 防 車	CM-2010D	5W
	携帯型	栄201		CP-2010P	5W
		栄202		CP-2010P	5W
		栄203		CP-2010P	5W
		栄204		CP-2010P	5W
		栄205		CP-2010P	5W
		栄206		CP-2010P	5W
署活系	携帯型	栄401		CP-4069-TH	1W
		栄402		CP-4069-TH	1W
		栄403		CP-4069-TH	1W
		栄404		CP-4069-TH	1W
		栄405		CP-4069-TH	1W
		栄406		CP-4069-TH	1W
		栄407		CP-4069-TH	1W
		栄408		CP-4069-TH	1W

消防水利状況

(平成29年4月1日現在)

地区	区分	消火栓	公設					私設	防火 水槽 合計	プ ール	河 川	そ の 他	
			公設	60m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	20m ³ 以上 40m ³ 未満	20m ³ 未満	小計					40m ³ 以上 60m ³ 未満
計		221	2	116	72	24	214	6	220	1	7	7	
安食台		47		11									
田中		2		2									
松ヶ丘		6		1									
酒直台		15		6									
竜角寺台		24		8						1			
南ヶ丘		13		3									
安食1区		19		5	4	1		1					
安食2区		17	2	4	3	2							
安食3区		5		8	5	1							
安食1丁目～3丁目		16		4									
須賀		2		3	6								
須賀新田		3		1	4								
北辺田		2		4	1	3							
矢口		6		2	6	3							
矢口神明		13						3					
興津				4	5						7	7	
麻生				5		4							
龍角寺		2		3	2	4							
酒直		6		8	3	6		1					
南部				2									
和田		7		2	6			1					
押付		2		1	4								
南・曽根		4		6	1								
布鎌酒直・出津		4		1	7								
西				3	2								
布太		2		3	4								
三和				1	1								
中谷				3	1								
北		2		4	1								
請方		2		8	6								

応援協定等の状況

千葉県広域消防相互応援協定

平成 15 年 4 月 1 日

千葉県下の市町村及び一部事務組合が大規模災害及び産業災害その他の災害の予防、鎮圧に万全を期し、併せて民心の安定を図るため相互応援体制を確立し、不測の事態に対処することを目的として締結した。

成田国際空港消防相互応援協定

平成 18 年 7 月 12 日

成田市、香取広域市町村圏事務組合、佐倉市八街市酒々井町消防組合、山武郡市広域行政組合、匝瑳市横芝光町消防組合、印西地区消防組合、四街道市、栄町及び富里市並びに成田国際空港株式会社と、その周辺における航空機災害の消火救難活動に関する相互応援協定に締結した。

栄町・印西地区消防組合消防相互応援協定

平成 16 年 5 月 13 日

栄町の指定した区域及び印西地区消防組合の指定した区域における、消防相互の応援をすることを目的に締結した。

成田市・栄町消防業務応援協定（平成 25 年 1 月 25 日に相互応援協定が締結されたため本協定は廃止）

平成 4 年 5 月 2 日

栄町の指定した区域（安食地区）における、救急・救助業務の協力を成田市が応援することを目的に締結した。

栄町・稲敷地方広域市町村圏事務組合消防相互応援協定

平成 18 年 3 月 6 日

若草大橋橋上で発生した災害に対して、消防相互の応援をすることを目的に締結した。

成田市・栄町消防相互応援協定

平成 25 年 1 月 25 日

成田市・栄町相互の管轄区域に接する地域及びその周辺における、火災・救急・その他の災害に対して消防相互の応援をすること及び、ちば消防共同指令センターにおける円滑な指令・出動を図る為締結した。

防災編



《地区別防災訓練》

栄町の防災体制につきましては複雑多様化する大規模災害時に備え、消防機関と防災関係機関による体制強化とあわせて住民が連携し、地域ぐるみの防災体制の確立を図っていくため地区別防災訓練、自主防災組織訓練、地域防災対策推進活動(小中学校地震体験学習)を開催しています。

栄町防災行政無線通信施設状況

固定局配備状況

呼出名称 : ぼうさいさかえ

空中線出力 : 1W

送信場所 : 栄町安食台1丁目2番(栄町役場内)

屋外受信機設置場所

(平成30年4月1日現在55基)

番号	設置場所	番号	設置場所
1	拾五町歩地先	29	雨堤児童公園
2	前新田地先	30	竜角寺台小学校
3	第1分団第1部機庫(1区)	31	四斗蒔児童公園
4	前新田浄水場	32	竜角寺近隣公園
5	安食小学校	33	布鎌酒直青年館
6	立嶋児童公園	34	出津青年館
7	栄中学校	35	第4分団第4部機庫(布鎌酒直)
8	三区集会所	36	長門川公園
9	田中児童公園	37	和田土地改良区
10	安食台第2近隣公園	38	布鎌小学校東分校跡地
11	安食台3丁目集会所	39	第4分団第2部機庫(押付)
12	安食台小学校	40	曾根公会堂跡地
13	第2分団第1部機庫(須賀)	41	曾根香取神社
14	第2分団第2部機庫(須賀新田)	42	第4分団第3部機庫(南)
15	栄町終末処理場	43	下堤外児童公園
16	旧北辺田小学校	44	南第2児童公園
17	矢口仲台地先	45	南浅間神社
18	矢口農協倉庫	46	西青年館
19	矢口榎本地先	47	第5分団第2部機庫(布太)
20	興津浅間神社	48	中谷集会所
21	麻生集会所	49	栄町北沖耕地神社
22	龍角寺	50	押砂地区集会所地先
23	千葉県立栄特別支援学校	51	請方農村協同館
24	旧酒直小学校	52	請方集会所
25	酒直池ノ内地先	53	布鎌小学校
26	南部青年館	54	旧栄町公民館
27	船戸児童公園	55	栄町役場
28	酒直台児童公園		

自主防災組織防災備品状況(町整備)

(平成30年4月1日現在)

品 名	数量	品 名	数量	品 名	数量
ハンドマイク	55	ポリタンク	95	鋸	36
メガホン	113	飲料水袋	3,100	強力ライト	147
トランシーバー	22	災害用移動炊飯器	8	標旗	14
消火栓ボックス	107	釜セット	10	ロープ	21
救急セット	20	ヘルメット	1,026	難誘導灯	28
担架	18	腕章	1,418	スコップ	47
三角巾	1,081	発電機	23	ペンキ・ハケ	14
トビロ	24	投光器	28	シート	105
ボール	89	ロッカー	6		
掛矢	43	リヤカー	17		

自主防災組織防災備品状況(各自主防災組織整備)

(平成30年4月1日現在)

品 名	数量	品 名	数量	品 名	数量
災害時用備品					
発電機	2	チェーンソー	8	ボトルクリッパー	5
簡易救助資機材セット	1	ブルーシート	51	防塵メガネ	66
消火栓用ホース	70	ハンドマイク	1	防塵マスク	9
コ ー ン	5	懐中電灯(大)	18	土のう袋	6
防災ラジオ等	12	ハンマー	3	パイロン	200
シグナルライト	9	自主防ベスト等	27	テント	14
腕 章	40	ジャンパー	15	携帯無線機	325
拍 子 木	4	一輪車	2	担架	15
消火器	7	コードリール	15	ボール	17
防災ヘルメット	45	長 靴	10	鋸	34
濾 過 器	1	防災ジャケット	22	鉋	2
折りたたみ式水容器	16	かまど38型	8	斧	9
折りたたみバケツ	10	刈払機	8	番線カッター	5
浄水器ストロー	100	かまどアジャスタ	6	組立式リヤカー	3
災害非常用セット	5	混合ポリ	2	延長コード	1
軍 手	308	耐火煉瓦	192	防災用スタンドライフセット	3
笛	109	鉄板	8	ワイヤレスセット	2
ガソリン携行缶	7	電動丸ノコ	4	投光器一式	21
給油ポンプ	1	避難誘導旗	10	スコップ	15
工具箱	1	ジャッキ	10	ロープ	3
非常用食品・生活用品					
ローソク	33	レスキューキャリア	1	ハンドフィット	200
ハイゼックス	3,064	救急三角巾	150	丸型ペール70型	12
アルファ米50食	229	ウェットタオル	6	グリル	8
大型乾パン	370	七 輪	2	ポリバケツ	4
保 存 水	114	豆 炭	6	調理用具一式	9
カセットコンロ	27	木炭20キロ	162	備蓄食料	1
ガスポンベ	45	チャッカマン	4	スポーツジャー	1
毛 布	147	保存食(五目御飯)	200	飲料水袋	8
トイレトペーパー	110	パンの缶	72	布団(防災訓練用)	1
簡易トイレ	11	フレンドクリュー	15	簡易トイレ袋(10枚入り)	1
電 池	204	ティッシュペーパー6P	5	簡易トイレ用囲い(テント)	1
おむつ	3	氷砂糖	6	シート	2
リハビリパンツ	1	ウェットティッシュ	5	タオルケット	4
ウイスキー	4	飲料水タンク	4		

町防災備品状況

非常用備品

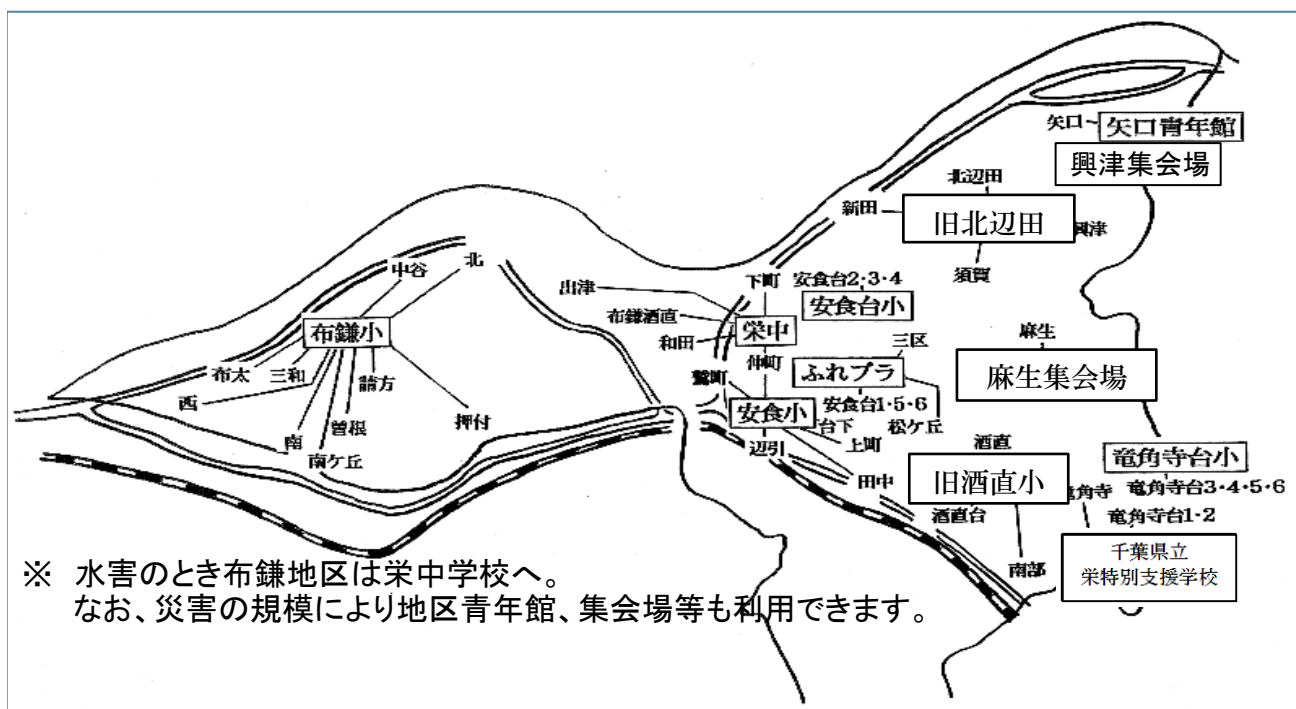
(平成30年4月1日現在)

品名	規格	数量	品名	規格	数量
防災倉庫	アルミ製101型	4	ヘルメット	職員用	300
	中学校々舎内	1	トラロープ	100m	1
懐中電灯		37	カラーコーン		30
ラジオ付懐中電灯	サイレン付き	10	コーンリング		30
充電式携帯用ライト		10	コーンバー		20
担架		10	腕章	職員用	300
浄水機		2	発電機	2.0kw～2.2kw	5
スチール製簡易組立トイレ	ベンクイック	32	投光器	三脚付ハロゲン500W型	12
簡易トイレ予備便槽	300リットル	2	ガソリン携行缶	20リットル	5
災害用個人用トイレ	エマトイレ	14	マグネット式回転灯		3
災害用トイレ汚物廃棄用袋	650mm×800mm	8,680	水中ポンプ		2
災害用移動炊飯器		7	拡声器	サイレン付き	2
毛布	真空パック	1370	ポリタンク	20リットル	148
マイルディシート		9	バケツ		30
災害用かまどセット	アルミ製 5升炊	3	ワンタッチテント	Mタイプ	39
災害用安全キャンドル		21	ワンタッチパーテーション		25
ハンドマイク		1	簡易担架	スマートムーバー	38
コードリール		9	災害用車いす	スタンダードタイプ	10
雨衣		514	ポータブルスロープ	アルミ2折式	29
防水シート		1496	簡易電動トイレ		11
土のう袋		10,200	災害用トイレ	テント付	3
パイル		850	気化式大型冷風機	定格電圧100V 有効貯水量60L	3
簡易間仕切り	4㎡用	40			
チェンソー		6			
スコップ	丸型62丁・角型22丁	84			
なた		10			
のこぎり		49			
掛矢	150mm	17			
鉄ハンマー	3.5kg 両口	12			
万能オノ	300mm	8			
ショーレン	救助用8kg・1.6m	5			

非常用食品・生活用品

(平成30年4月1日現在)

[illegible]



No.	名 称	所 在 地	収容可能人員		避難地区名	海拔
			屋外	屋内		
1	ふれあいプラザさかえ	安食938-1	4,625	996	安食台1・5・6丁目、松ヶ丘・三区	9.0m
2	栄中学校	安食55	5,676	1,633	仲町・下町・和田・布鎌酒直・出津	27.0m
3	千葉県立栄特別支援学校	龍角寺1112-2	2,950	720	龍角寺・竜角寺台1・2丁目	24.0m
4	竜角寺台小学校	竜角寺台6-26-1	2,290	470	竜角寺台3・4・5・6丁目	19.0m
5	安食台小学校	安食台4-34-1	2,610	430	安食台2・3・4丁目	7.0m
6	安食小学校	安食305	2,570	140	仲町・鷺町・台下・上町・田中・辺引 安食1・2・3丁目	24.0m
7	旧酒直小学校	龍角寺33	2,030	280	酒直・酒直台・南部	30.0m
8	旧北辺田小学校	北辺田212	800	160	北辺田・興津・須賀・須賀新田	20.0m
9	布鎌小学校	請方157-1	2,214	160	北・中谷・布太・三和・西・南・曾根・請方 押付・南ヶ丘	2.0m
10	麻生集会場	麻生182-1	—	27	麻生	25.0m
11	矢口青年館	矢口6-1	—	24	矢口	20.0m
12	興津集会場	興津1183	—	—	興津	21.0m
合 計			25,765	5,040		

消防団編



《女性消防団発足》

消防団員は、郷土愛護の精神に基づき地域住民の生命、身体、財産を災害から保護するため、昼夜を問わず旺盛な消防精神により、献身的な奉仕活動を行っています。

自分たちの地域は自分たちで守るという理念に基づき火災のみならず、地震や風水害等の大規模災害時においても消防団員の果たす役割は非常に大きいものがあり、その役割を果たすための訓練等に励んでおります。

栄町消防団員は平成30年4月1日現在、5分団22部及び機能別消防団282名で構成されています。年間事業の中で、規律訓練、操法訓練、ポンプ取り扱い訓練、水防訓練をはじめとして災害現場に生かせるように訓練しており消防署との連携強化に努めています。

また、機械器具・消防水利の点検、冬季や強風時には火災警戒活動も実施しております。

消防団員報酬(年額)

(平成30年4月1日現在)

(円)

階級 区分	団長	副団長	本部長	分団長	副分 団長	部長	班長	団 員
消防団員	160,000	114,000	84,000	63,000	49,000	40,000	29,500	27,000

消防団員各種手当

(円)

区分 支給額	火災	風水害	警戒	訓練	その他
1回につき	1,500	1,500	1,500	1,500	750

消防団出場状況

(平成30年3月31日現在)

区分	火災	風水害	警戒	訓練等	式典等	その他	合計
出動回数	3	0	1	5	5	1	15
出動団員数	105	0	15	520	339	92	1,071

階級別定員数及び実員数

(平成30年4月1日現在)

区分\階級	団長	副団長	分団長 (本部長)	副分 団長	部長	班長	団員	計
定員	1	2	11(6)	5	22	72	239	352
実員	1	2	9(4)	5	22	22	221	282

分団別人員配置状況

(平成30年4月1日現在)

区分\階級	団長	副団長	本部長	分団長	副分 団長	部長	班長	団員	計
本 部	1	2	4						7
第1分団	第1部				1	1	1	15	18
	第2部					1	1	15	17
	第3部			1		1	1	12	15
第2分団	第1部			1		1	1	12	15
	第2部				1	1	1	7	10
	第3部					1	1	12	14
	第4部					1	1	8	10
	第5部					1	1	14	16
第3分団	第1部					1	1	7	9
	第2部					1	1	8	10
	第3部			1		1	1	9	12
	第4部				1	1	1	2	5
第4分団	第1部					1	1	13	15
	第2部					1	1	5	7
	第3部			1		1	1	11	14
	第4部				1	1	1	7	10
第5分団	第1部				1	1	1	7	10
	第2部					1	1	4	6
	第3部					1	1	3	5
	第4部					1	1	0	2
	第5部					1	1	8	10
	第6部			1		1	1	13	16
機能別消防団								29	29
合 計	1	2	4	5	5	22	22	221	282

栄町消防団車両保有状況

(平成30年4月1日現在)

配置場所		車両名称	車両購入年月	車種	級別	小 型ポンプ 購入年月
第1分団	第1部	消防ポンプ自動車	平成16年12月	日野自動車	A-2級	—
	第2部	消防ポンプ自動車	平成15年 3月	日野自動車	A-2級	—
	第3部	小型動力ポンプ付積載車	平成 4年12月	日産自動車	B-2級	平成 25年11月
第2分団	第1部	消防ポンプ自動車	平成 2年 9月	イズズ自動車	A-2級	—
	第2部	小型動力ポンプ付積載車	平成 4年12月	日産自動車	B-3級	平成22年 9月
	第3部	消防ポンプ自動車	平成13年 1月	日産自動車	A-2級	—
	第4部	小型動力ポンプ付積載車	平成22年 3月 (総務省消防庁貸付車両)	日産自動車	B-2級	平成22年 3月 (総務省消防庁貸付車両)
	第5部	消防ポンプ自動車	平成16年12月	日野自動車	A-2級	—
第3分団	第1部	小型動力ポンプ付積載車	平成 9年 1月	日産自動車	B-2級	平成 9年 1月
	第2部	小型動力ポンプ付積載車	平成 9年 1月	日産自動車	B-2級	平成28年 1月
	第3部	消防ポンプ自動車	平成 5年11月	イズズ自動車	A-2級	—
	第4部	小型動力ポンプ付積載車	平成 5年11月	日産自動車	B-2級	平成 5年11月
第4分団	第1部	小型動力ポンプ付積載車	平成14年 1月	トヨタ自動車	B-2級	平成14年 1月
	第2部	小型動力ポンプ付積載車	平成15年 3月	トヨタ自動車	B-3級	平成15年 3月
	第3部	小型動力ポンプ付積載車	平成16年 2月	日産自動車	B-3級	平成16年 2月
	第4部	小型動力ポンプ付積載車	平成14年 1月	トヨタ自動車	B-2級	平成14年 1月
第5分団	第1部	小型動力ポンプ付積載車	平成 5年11月	日産自動車	B-2級	平成30年3月
	第2部	小型動力ポンプ付積載車	昭和58年11月	日産自動車	B-3級	平成 4年12月
	第3部	小型動力ポンプ付積載車	昭和58年11月	日産自動車	B-3級	平成 4年12月
	第4部	小型動力ポンプ付積載車	昭和58年11月	日産自動車	B-3級	平成元年10月
	第5部	小型動力ポンプ付積載車	平成 3年12月	日産自動車	B-2級	平成29年2月
	第6部	消防ポンプ自動車	平成 4年12月	イズズ自動車	A-2級	—

消防団施設概要

(平成30年4月1日現在)

名 称		住 所	構 造	建物延べ面積
第1分団	第1部	安食3,431-1	鉄骨造2階	107.0㎡
	第2部	安食3,647	鉄骨造2階	49.0㎡
	第3部	安食1,464-1	鉄骨造平家	49.1㎡
第2分団	第1部	須賀501	木造2階	57.0㎡
	第2部	須賀1,969	鉄骨造平家	24.0㎡
	第3部	北辺田87	木造2階	59.8㎡
	第4部	矢口6-1	木造平家	28.0㎡
	第5部	興津1,136	木造2階	57.0㎡
第3分団	第1部	麻生245-1	木造2階	57.0㎡
	第2部	龍角寺131-1	鉄骨造平家	25.0㎡
	第3部	酒直1,371	木造2階	25.0㎡
	第4部	酒直299-2	木造2階	57.0㎡
第4分団	第1部	和田336	木造平家	28.0㎡
	第2部	押付192	鉄骨造平家	33.9㎡
	第3部	南110	鉄骨造2階	61.0㎡
	第4部	布鎌酒直地先	鉄骨造2階	57.0㎡
第5分団	第1部	西199	木造2階	61.0㎡
	第2部	布太38	木造2階	61.0㎡
	第3部	三和173-6	鉄骨造2階	45.0㎡
	第4部	中谷202	木造平家	30.0㎡
	第5部	北379	鉄骨造2階	57.9㎡
	第6部	請方字島田311-2	木造2階	57.9㎡

平成30年版
消 防 年 報

発行 平成30年6月

編集 栄町消防本部消防防災課警防班

〒270-1546

千葉県印旛郡栄町生板鍋子新田乙20-71

TEL 0476-95-0119

FAX 0476-95-7630

E-mail: shoubou@town.sakae.chiba.jp